

2023年12月14日

会 員 各 位

公 益 事 業 学 会  
会 長 水 谷 文 俊

## 2024年度（第74回）大会報告者の募集

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当学会は2024年度（第74回）大会を2024年6月8日（土）、9日（日）の日程で慶應義塾大学三田キャンパスにて開催する予定です。報告形式は統一論題【**インフラの維持管理・更新の資金需要とその調達**】および自由論題です。

つきましては、報告のご希望がございましたら、申込用紙にご記入のうえ下記要領にて事務局までお送りくださいますようお願い申し上げます（申込用紙は当学会ホームページ<https://www.jspu-koeki.jp/>からも入手可能です）。

なお、報告応募用紙提出後の報告論題の変更は、開催校の負担となりますのでお控えください。

### 記

申込期限：2024年1月26日（金）午後5時（**必着**）

申込資格：上記時点で2023年度までの会費完納の正会員  
および特別会員に所属する者

申込方法：Eメール

採否、統一・自由論題の別等に関してはプログラム委員会で検討し、後日その結果をお知らせいたします。大会プログラム案については、2024年4月中旬を目途に、学会ホームページに掲載いたします。報告者には2024年4月15日までに予稿を別途提出していただくこととなりますので、あらかじめお含みおき願います。 敬 具

【連絡先】公益事業学会事務局

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-14-10

アーバンネット日本橋ビル

株式会社 情報通信総合研究所内

TEL・FAX：03-3663-8201

E-mail：koeki@icr.co.jp

## 公益事業学会 第74回大会

開催場所： 慶應義塾大学三田キャンパス（東京都港区）

日 程： 2024年6月8日（土）・9日（日）

統一論題： インフラの維持管理・更新の資金需要とその調達

### インフラの維持管理・更新の資金需要とその調達

日本の交通インフラの資金は、金融機関からの融資と暗黙の政府保証のある債券が主な供給先であった。たとえば、空港の民営化によって特別目的会社に株式（エクイティ）がはいったとはいえ、依然として資金の出し手としての金融機関の影響力は強い。

世界的なインフレの高進により、欧米の長短金利は上昇局面にあるにもかかわらず、日本の金利は上がっていない。これはバブル崩壊後の長期におよぶ低金利政策の副作用ともいえ、国債政策との関連と史料される。しかしながら、その結果、国内では維持更新に対する資金需要があり、金融機関以外の資金の出し手も運用先を探しているにもかかわらず、資金の需給がマッチしていないように見える。マッチング問題は、日本の金融政策と交通政策の接点ともいえ、長年にわたって蓄積されたストックを資産として生かすことは、日本全体の貯蓄から投資へという流れにもつながるだろう。

運用先を探す資金の出し手は、わが国のインフラに投資先としての魅力を感じないのだろうか。また、インフラの運営者には資金需要はないのだろうか。そして、インフラの資金はこのまま金融機関に依存しつづけるのだろうか。このような問題意識のもとでインフラを取り巻く状況を歴史的視点もいれながら俯瞰し、わが国のインフラの資金調達の課題を世界との比較を通じて議論したい。